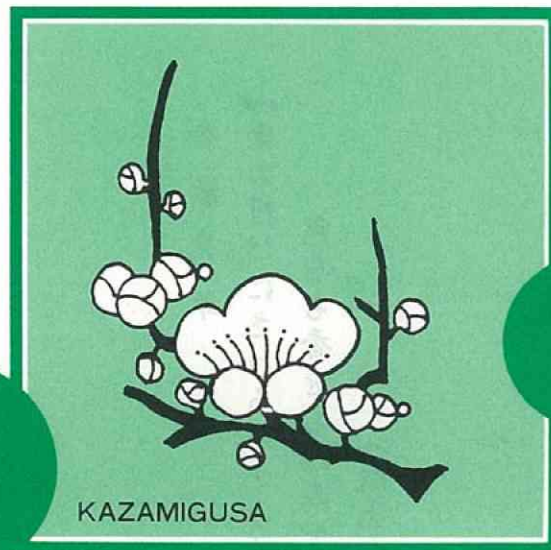


香散見草

1986. 冬  
2号



目 次

☆読書と思索.....	1
☆館蔵資料紹介.....	2
☆医学図書館に求められているもの.....	5
☆逐次刊行物一部移転のお知らせ.....	6
☆近畿大学逐次刊行物紹介.....	11
☆館のうち外.....	12
☆中央図書館利用概要.....	14
☆広報課 Speak out .....	15

香散見草

山里の軒はにさけるかさみくさ

色をも香をも誰みやはさん

(蔵玉和歌集)

▷印刷って恐いですね。

創刊号を配布して、半日も立たないうちに二字の誤字が指摘されました。

それ以後、出てくるわ出てくるわ、ゾロゾロと(?)「何をしているんだ。」とお叱りの声と、「誤りは、訂正すればいいんですよ。」という励ましの言葉と。両方を背にうけて、自分達の力不足をただただ反省することしきり。

こういうのを落ちこむっていうんでしょうか? しかし、落ちこんでばかりはいられません。誤字、誤植のない館報をめざして頑張りたいと思います。

▷創刊号にひき続き、2号のカットも建築学科楠田先生にお願いしました。

専門用語でいうとコラージュという手法を使って作成されたそうですが、私は思わずドリトル先生を思い出しました。

あなたは、何を連想されますか。

▷『館のうち外』で、この方から原稿をいただいた時は 嬉しかったですね。

原稿をお願いしてから、お断りの言葉をさんざん聞かされましたが、やっとOKの返事を貰って出来上りの原稿をいただいた時、六枚の原稿用紙の重かった事。「どうして僕なんですか?」という御質問に今、誌面でお答えしたいと思います。

学務課の金谷さんへ

そのいかつい体(失礼! )からは、とても想像出来ない柔和な笑顔。

そのまま図書館の相談係のカウンターに座っていただきたい程、魅力的な笑顔です。その笑顔を文章にさせていただきたかったんです。

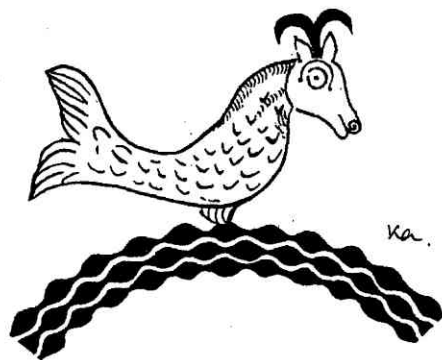
この様に、広報課での一番の楽しみは、多くの人達との出会いです。人との出会いが、広報課の財産です。

一つの物事にも、いろんな意見があるように、多くの人達と出会う事によって、よりよい館報が出来るのだと思っています。

▷34号館への雑誌の移動が無事終了いたしました。本号でもその内容には、詳しく説明されているかと思いますが、尚不明な点、御質問は図書館運用課までお尋ね下さい。

▷図書館に関するどんな質問も希望も広報課まで御一報下さい。

又「館のうち外」でも原稿を広く募集しております。ふるって御応募下さい。





あなたの声を聞かせて下さい。図書館は今、全身を耳にして利用者の声を聞こうとしています。図書館に対する要望や意見を書き投稿して下さい。ポスターによる皆様の反応を心待ちにしております。

# 中央図書館利用概要

**開館時間** 午前 9 時 30 分～午後 8 時 20 分（ただし、春期・夏期・冬期休暇期間中及び入試期間中は、開館時間を変更することがあります。）

**休 館 日** 日曜日、祝日、本学創立記念日(11月 5 日)、入学式( 4 月 8 日)、卒業式( 3 月 15 日)  
春期休暇中、夏期休暇中、冬期休暇中の一定期間（期日についてはその都度掲示します。）

## 図書閲覧・貸出手続

区分 事項	資 格	制限冊数	期 間	手 続
館内閲覧	教員(専任・非常勤)	開架図書は制限なし 書庫内図書は1人5冊以内	開館時から閉館時まで	開架図書は自由に閲覧出来ます。 書庫内図書は閲覧票による
	事 務 職 員			
	大学院生・研修生			
	学 生 ・ 聴 講 生			
	卒 業 生			
館外貸出	教 員 ( 専 任 )	1人30冊以内	6ヵ月間	貸出許可証と館外貸出票による
	教 員 ( 非常勤 )	1人10冊以内		
	事 務 職 員	1人10冊以内		
	大 学 院 生	1人15冊以内	3ヵ月間	
	研 修 生	1人10冊以内		
	学 生 ・ 聴 講	1人5冊以内	15日間	
分置	学 部 学 科 研 究 室 事 務 系 部 課 ・ 事 務 室 等	分置規定に従い館長の認めるものに限る	1年間	分置申請書による
	書庫内検索	教 職 員 大学院生・研修生	開館時から閉館30分前まで	入庫者記録に記入し、閲覧証と引きかえに入室証を受け取り入庫

● 図書館利用の事でわからないことは、図書館 3 F 運用課までお尋ね下さい。運用課内線 2505、2506

近畿大学中央図書館報 香散見草 2号

1986年2月発行

編集・発行 近畿大学中央図書館広報課

〒577 東大阪市小若江3丁目4番1号

TEL (06) 721~2333 内2513